

パナソニック・イズム

ism

モノづくりスピリッツ
発見マガジン

アーカイブ
Archives

SHARE

▶ コンテンツ一覧 ▶ このサイトについて

ism トップ > モノでないものを売った男 ～あかり安心サービス～

※過去に掲載された記事になります。内容は公開時のものであり、最新の情報とは異なる場合がございます。

モノでないものを売った男

～あかり安心サービス～

環境への配慮が強く求められるいま、
オフィスや工場で使われる
蛍光灯のレンタルサービスが注目を集めている。
既存のビジネス構造を見直し、様々な逆境を跳ねのけて、
画期的なサービスを立ち上げた男…
その軌跡をたどるノンフィクション・コミック。



▶ プロローグ

困難を乗り越えてアイデアを
表現したパワーに迫る。



▶ 前編

企画は固まった。だが、社内の
反対派をどう説得する？



▶ 後編

マスコミ発表・代理店の説得
という壁を突破できるか？



▶ エピローグ

「素人」の実行力が社会を
動かす？



▶ [ランプ処理工場見学記](#)

▶ [HTML版はこちら](#)

[スタッフ一覧へ](#) / [HTML版へ](#)

このコンテンツ、あなたの評価は？ おもしろい ふつう おもしろくない

[ismトップ](#)

[コンテンツ一覧](#) | [このサイトについて](#)

モノでないものを売った男

印刷 閉じる

フクロク
モノでないものを売る？

「あかり安心サービス」…、初めて耳にする方も多いだろう。それもそのはず、これは企業向けのサービスであって、個人向けのものではないからだ。

「あかり安心サービス」とは、オフィスや工場などで使う蛍光灯ランプをその企業へ一括貸与し、使用済みランプを回収、再資源化を保証する仕組み。つまりこのサービスは、「ランプ」という「モノ」ではなく「あかり」という「機能」を売っているのだ。環境に優しい循環型社会の実現を目指す企業や専門家から非常に注目されている松下の新規事業である。

ポイントとは、「モノ」でなく「サービス」を提供するという発想の先見性だろう。皆さんの生活を見わたしても、製品そのものがほしいわけではなく機能（たとえば、水が出るとか空気がきれいになるとか…）さえ手に入ればよい、というものは多いのではないだろうか。モノを買わずに機能を買うということは、捨てるモノ（ゴミ）がない究極のエコ生活につながる。そんな「捨てずにすむ生活」を理想と感じる私のような生活者は、今では数多いはずだ。



このコミックの取材・原作

野口 哲典

(のぐち てつり)

フリーライター。

リサーチ会社勤務時代に培った情報収集能力を活かし、科学関連から生活全般まで、ジャンルに限定されない幅広い執筆活動を展開。

進む

1/38

モノでないものを売った男

印刷 閉じる

フクロク
モノでないものを売る？

ご存じのように、一部の電気製品においては、家電リサイクル法により、処理費用を消費者が負担し、メーカーはリサイクルを推進する義務を負うことが定められている。ところが、蛍光灯ランプのような大量消費・低価格の製品では、採算性やシステム確立の難しさが壁になり、リサイクルのしくみの実現は難しいのだという。そこで、モノの販売と有料リサイクルではなく、モノをレンタルして機能だけにお金を払ってもらおう、と発想を転換したのが「あかり安心サービス」なのだ。

私は、リサイクル法に関連して多くの企業を取材したり、環境問題の入門書を書いたりしたことがある。そうした経験から、メーカーである松下電器※がこうした事業を始めるには、さぞや障害が多かっただろう、と想像した。そこには、困難を乗り越えるビジネスマンのドラマがあるはずだ、と。

果たして、この事業のリーダーである宮木さんは、そんな私の期待通り、たくさんエピソードを語ってくれた。モノでなく事業の開発物語だから、正直いっ



あかり安心サービスの中心人物

宮木 正俊

(みやき まさとし)

松下電工株式会社
電材マーケティング本部
カスタマークリエイティブセンター
ソリューショングループ
部長 (環境・メンテナンス
事業推進担当)

進む

2/38

戻る

モノでないものを売った男

印刷 閉じる

フクロク
モノでないものを売る？

て難しいところもあったが、宮木さんは丁寧な、時にはホワイトボードに図を書きながら説明してくれた。その姿を見てみると、皆さんに何をどう伝えるべきか、私の考えが固まってきた。

伝えたいのは事業の複雑さではなく、困難を乗り越えてアイデアを実現したパワーだ。今こうして丁寧に熱心に語る宮木さんそのものだ。宮木さんの姿を通して、私のテーマを一番リアルに語る手段は…そう、漫画である。題して「モノでないものを売った男」。

私を感じたパワーは、皆さんにも届くだろうか。

※あかり安心サービスは、二〇〇五年一月以降、組織変更に伴って松下電工(株)電材マーケティング本部が運営しています。劇中の社名・組織名称等は当時のものです。



進む

3/38

戻る

モノでないものを売った男

凸印刷 閉じる



進む 4/38 戻る

モノでないものを売った男

凸印刷 閉じる



進む 5/38 戻る

モノでないものを売った男

凸印刷 閉じる



進む 6/38 戻る

モノでないものを売った男

凸印刷 閉じる



進む 7/38 戻る

モノでないものを売った男

凸印刷 閉じる



進む 8/38 戻る

モノでないものを売った男

凸印刷 閉じる



進む 9/38 戻る

モノでないものを売った男

凸印刷 閉じる



進む 10/38 戻る

モノでないものを売った男

凸印刷 閉じる



進む 11/38 戻る

モノでないものを売った男

凸印刷 閉じる



進む 12/38 戻る

モノでないものを売った男

凸印刷 閉じる



進む 13/38 戻る

モノでないものを売った男

印刷 閉じる

エピソード
「素人」の実行力が社会を動かす？

——最後に、このサービスの将来について聞いてみた。

宮木 「将来はランプだけでなく、建物の中にある照明機器や空調機器などのあらゆる設備品に、このサービス方式を適用したい。常にお客様が満足するビジネス環境を提供し、環境にも配慮した省エネ経営ができるようなサービスを作りたいと考えています。

つまり、オフィスビルをまるごと管理し、環境に優しい快適なビジネス空間を提供したいということです。松下電器の目標である“超・製造業”の考え方にも通じると思います」

——なるほど、モノの処理に悩まされず快適な機能が得られれば、会社にとってはまさに理想のオフィスといえる。

宮木 「空調フィルターに関しては、『キレイな空気安心サービス』という、『あかり』を応用したサービスを実施する予定です。また、あかり安心サービスについても、サービスの質を均一に保ちつつ向上させ、進化を続けていきます」



進む

35/38

戻る

モノでないものを売った男

印刷 閉じる

エピソード
「素人」の実行力が社会を動かす？

——既に第二弾が始動しているとは、この日初めて知った。一つの事業を作り出したパワーは、ますます増殖中らしい。宮木さんのパワーはどこから生まれるのだろう。

宮木 「照明ビジネスを刷新したい、自分自身も新しいことをやりたい、という強い渴望から生まれたのが、『あかり安心サービス』です。プレゼンテーションの場では、『サラリーマン人生をかけてやりぬく！』と笑いを取ったりしましたが、あながち冗談でもないんです。

私自身は、環境よりも販売に興味がある、根っからの営業マンでした。それまでは環境についてあまり熱心に考えたことがなかったし、いわば全くの素人。しかし、その素人のやることを、お客様が非常に歓迎してくれた。向こうは環境の専門家ですよ。それなのに、私が予想した何倍も敏感に反応してくれたのです。このビジネスが社会に認められ、結果として環境問題に貢献できるのなら素晴らしいことだし、やりぬいてよかったと感じます。



進む

36/38

戻る

モノでないものを売った男

印刷 閉じる

エピソード
「素人」の実行力が社会を動かす？

また、上司の後押しと多くの関係者の支援、さらにはサービス会社さんのご協力と努力を得られたからこそ実現できたのだと今になって強く感じます。どんなにお客様の役に立ちたい、社会の役に立ちたいと思っても、一人の力では何もできない。会社で仕事をする意義はそこにあるのではないのでしょうか」

——現状を変えたい、新しいことに挑戦したいという宮木さんの思いは、私だけでなく、三十代、四十代以上の人にとっては共通のものではないだろうか。

専門家も活動家もたくさんいる中、現実の障害を乗り越えて社会が認める環境ビジネスを実現させたのは、一企業人であり自称「素人」の宮木さんの思いだった。それが上司・経営陣の思いと結びついて新事業への流れを作り出し、さらにお客様や社会の評価を得たことで、大きく突っ込んだ。

この物語で読んでいただいたように、環境問題やリサイクルビジネスにおいては、業界やメーカーの責任、行政など、難しい条件がたくさんある。しかし、宮



進む

37/38

戻る

モノでないものを売った男

印刷 閉じる

エピソード
「素人」の実行力が社会を動かす？

木さんのような人がメーカーにいる限りこれからもより良い方向に変わっていくだろう。

「あかり安心サービス」からはじまる新しいビジネス、みんなで見守っていきますよ、宮木さん！（おわり）

▼ランプ処理工場見学記

「あかり安心サービス」のもう一方の主役、蛍光灯ランプ。使われ回収された後、実際にどんな処理が行われているか、私・野口が皆さんの代わりに見てきました。ぜひご覧ください。



作画・池原しげと

1970年、手塚プロダクションに入社。71年、手塚治原作の『不思議なメルモ』（小学館学年誌）の代筆にてデビュー後、学年誌、少年誌などで数多くの作品を発表。『魔女っ子メグちゃん』（小学館学年誌、希望の友）、『ファミコン風雲児』（コミックボンボン）など、代表作多数。

38/38

戻る